



新潟明訓高等学校同窓会・会報

高明訓同窓

発行所
新潟市江南区北山1037番地
新潟明訓高等学校同窓会
会長 渡辺 惇夫



- 綱 領
- 一 母校愛精神の昂揚
 - 二 伝統保持と敬愛
 - 三 会員の連繫と相互扶助

ご挨拶

母校創立百周年記念式典等の実施を終えて



同窓会長
渡辺 惇夫

早いもので令和五年の新年を迎え、同窓会員の皆様には何かと気忙しいご多忙の日々をお過ごしのことと拝察いたしますとともに、ご健勝にてお暮しのこととお慶びを申し上げます。また、平日頃は当同窓会の諸活動並びに母校の更なる発展と飛躍のために心からなるご理解とご協力をいただいておりますことに改めて深く敬意を表し感謝を申し上げます。また、毎年十一月頃に予定し、実施をさせていただいております恒例の同窓会総会ではありますが、昨年の開催についてもご承知のような新型コロナウイルス禍の中でその感染拡大防止等の諸事情を考慮し、大変残念なことではありましたが止むを得ず中止とさせていただきます。改めてご理解を賜りますようお願い申し上げます。さて皆様ご承知のように、我が母校新潟明訓高等学校は、大正十年創立開校以来他校に誇れる立派な伝統と実績を積み重ねながら今日に至っており、昨年十月二十二

日には朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターに於いて各界各層の皆様や卒業生、在校生の皆様多数をお迎えし、盛大に創立百周年記念式典と本校の同窓生でもあります藤沢周氏による記念講演会等が行われました。我々同窓生にとっても正にこれからも永遠に記憶に残る素晴らしい記念式典でありましたし、これを契機に将来の新潟明訓高等学校の限らない発展に繋がるよう今後も最大限に努力し、勇往邁進していかねばなりません。幸いにも我が同窓会には年代を問わず多くの優れた人材が広く各界各層に於いて指導的立場で活躍しておられます。この多くの皆様からも、母校の現況等をこの機会に更に知っていただくとともに、多くの関心をもっていただき、今後とも同志的意識を高めながら協力体制を確立する必要があると。そのことが母校の更なる発展と飛躍に資するとともに、同窓会の尚一層の活性化と発展にも繋がるものと確信いたします。今後とも同窓会員の皆様の旧に倍するご指導とご協力を心からお願ひ申し上げます。最後に、今後の母校新潟明訓高等学校のますますの発展と、同窓会員の皆様の一層のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます、ご挨拶といたします。

ご挨拶



理事長
小泉 一樹

同窓生の皆様、先の「明訓同窓」で理事長就任のご挨拶をしてから二年余りが経過したところですが、この間に、本校は、令和三年九月三日に創立百周年目を迎えましたので、ご報告いたします。

一 百周年事業の一環として、令和三年十月には「新潟明訓百周年記念会館」を竣工し、十一月には「新潟明訓高等学校百年史」及び「創立百周年記念明訓同窓会員名簿」を発刊致しましたが、当初、十月に予定していた「百周年記念式典・祝賀会」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、丸一年、開催を延期することとなりましたが、結局、令和四年十月二日に「百周年記念式典」を実施し、「祝賀会」は中止となりました。

1 まず、「新潟明訓百周年記念会館」は本校の駐車場敷地内に二階建ての会館を建築し、一階は、学習室兼会議室（パーテーションで区切ることも可）として、生徒の自学自習、同窓会関係者の会議及び各種会合のために利用する目的で設置され、現在、夕方からは、多くの生徒が勉学に励んでいる状態です。二階には半分を、明訓高百年の歩みと弥彦明訓校の関係資料によって、発足時から歴史を社会の出来事と並べて分かりやすいパネル形式で展示スペースとしていますが、同窓の皆さんがご自分の在籍していた三

本校の卒業生で芥川賞作家である新井満氏のコレクションから寄贈していただいた絵画等を展示してあります。新井満氏には当初予定された令和三年十月の「百周年記念式典」において、同じく同窓の芥川賞作家藤沢周氏との対談を計画していましたが、体調を崩されていたことで、ご辞退され、その代わりに本校へのコレクションの寄贈が行われましたが、残念なこと同年十二月三日に七十五歳でご逝去されました。

記念館の展示室は同窓生の皆さんも自由に見学することができるとともに、学習室兼会議室も同級会等の打ち合わせの場等として利用していただくことも可能ですので、是非、一度、足を運んでください。

2 次に、「新潟明訓高等学校百年史」は八十年史発刊からの二十年間について同窓生の皆様等関係各位からの原稿を頂き、無事、発刊に至りました。総頁数七二〇頁を超える大部となり明訓高校の百年の歴史を読み解くには必須の書籍となりました。殊に、本校が大正十年に勉強をしようとした勤労青年達が新潟夜間中学講習会と称して開設し、教師を頼み、教室を準備するといった「苦勞があったこと、そして、弥彦村にあった「明訓」という名前と出会った経緯など、先人の努力と勉学に対する熱い思いが伝わってきます。その後、太平洋戦争や新潟大火、新潟地震といった災害による被害を乗り越えて教育環境の整備と二十一世紀に入ってから充実に発展を遂げてきた本校の歩みを垣間見ることが出来ます。

3 「創立百周年記念明訓同窓会員名簿」は七十周年次の発刊から三十年を経過した

ことにより、同窓生の足取りを確認する作業だけでも大変なことだったものと思います。この同窓会名簿をもとに住所が不明(白地)となっていて同窓生については、住所などを公表したくないという方を除いて、同級生やクラブ活動での繋がりがあっても名簿発刊作業中に把握できなかった方などを改めて把握できるものと思いますので、同窓会の皆様には、是非、ご協力をお願いします。

4 「百周年記念式典」は、令和四年十月二十二日に朱鷺メッセコンベンションホールにて開催しました。中学・高校の在校生はもちろん、同窓生の皆様からも多数のご参加を頂き、誠に有難うございました。来賓として新潟地区選出の国会議員の皆様からも多数のご参加をいただきました。

式典の後半は、藤沢周氏から「明訓スピリッツ」と題した記念講演を頂き、同氏の在籍中の明訓高の在り様と現在の明訓高とを語っていただき、連続と伝えられる「明訓魂」について軽妙なトークが行われました。以上が百周年を記念して行われた事業の概要です。

二 本校は新たな百年に向けて動き出したところですが、

本年三月一日に卒業式が挙行されましたが、この卒業生は入学以来の三年間、新型コロナウイルス感染症の真つただ中であってマスクを外さずに高校生活を送らざるを得なかった生徒たちです。しかし、卒業式では、入退場時、卒業証書の授与時にはマスクを外しても良いこととなりました。入退場時のマスクを外した生徒たちには笑顔も見られ、また、皆が、凛とした挙動であり、コロナ等

に負けず前向きに生きていこうとする清々しさを感じました。

卒業生は同窓会員の一人となるわけですが、これからの社会を担っていくに相応しい若者たちの巣立ちを心から祝うとともに、このような若者に育ててくれた保護者の皆さんはもちろん、本校の教職員の皆様に感謝する次第です。

ご挨拶



学校長
中山 道夫

同窓会員の皆様には、日頃から本校の教育活動に格段のご理解とご協力を賜っておりますことにもますます感謝申し上げます。

コロナ禍により様々な制約があったものの同窓会員の皆様のご協力もあり創立百周年記念事業を無事終えることができました。記念事業の一つとして建築された「新潟明訓百周年記念会館」は、一階に学習室・会議室が設けられ、平日は午後九時まで、土・日、年末年始も開館しています。連日、大勢の生徒が熱心に学習に励んでおり、「好自学」を掲げる本校ならではの施設となっています。また、二階にある展示室には、

明訓百年の歴史を振り返るコーナーとともに、本校卒業生の新井満氏から氏の生前に寄贈された数々の美術品が収められています。この新井満コレクションは、トミオカホワイトで知られる富岡惣一朗画伯の作品を中心にイラストレーター・コクトー等の作品で

構成されています。寄贈に当たり新井さんからは「美術作品との出会いは『美しい知との遭遇』。愛するふるさとへの若い方に、それを感じてもらいたい」とのメッセージが寄せられました。時間を気にせず学習に打ち込むことができる学習室、母校の歴史を辿ることができるコーナー、心を豊かにしてくれる美術作品のコレクションなど、他にはない明訓ならではの環境を整えていただいたことに感謝申し上げます。

さて、在校生達はコロナ禍に屈することなく、部活動等においては、弓道部のインターハイ並びに全国選抜大会出場、野球部の秋季県大会優勝、生物部の文部科学大臣賞受賞、高校生模擬国連大会への出場、世界高校生津波サミットへの参加及び議長としての国連報告などさまざまな活躍を見せてきています。また、文武両道の明訓としてこの春も新潟大学医学部医学科四名をはじめ難関国立大学や早稲田、慶應など難関私立大学にも多数の合格者を出しています。さらにコロナ禍により途絶えていた渡航による海外研修も、この三月にハワイコース、オーストラリアコースとして三年ぶりに再開することができました。

昨年で創立百周年記念事業も終了し、これからは、新たな百年を進んでいくこととなります。ようやくコロナ禍から脱しつつあるとはいえ、ロシアによるウクライナ侵攻は終息の兆しすら見えず、世界的なインフレーションも世界経済を揺るがしています。先が見えない状況が続く中、これからの百年を見据えた学校運営に取り組みしていきたいと考えています。引き続き、同窓会員の皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年 同窓会本部総会

同窓会本部総会は新型コロナウイルス感染症により令和2年、3年、4年と3年連続で開催を断念しました。いずれも議案については常任委員による書面決議にて行いました。令和5年同窓会本部総会の開催につきましては未決定ですが、詳細が決まり次第ホームページでお知らせ致します。

令和3年度会務報告

- 1 会 議
- (1) 総 会
令和3年11月 書面決議
- (2) 役員会
令和4年9月2日 (金)

於：新潟卸センターNOCプラザ
・令和3年年度 本部総会、アトラクション、懇親会の開催可否について
・学校創立100周年について

～ご参加ください～
本部・首都圏・関西の総会・懇親会は本年秋に開催予定です。
決まり次第、同窓会ホームページにてお知らせいたします。
※新型コロナウイルスなどの影響で予定は変わる場合があります。

令和四年度

首都圏新潟明訓会総会・懇親会



令和四年度第35回首都圏新潟明訓会の総会・懇親会が来賓の渡邊同窓会副会長をお迎えし、首都圏同窓会員42名が出席して、令和4年11月19日(土)12時から、明治記念会館で開催されました。コロナ禍により3年ぶりの開催となりましたが、人数を制限し、感染症対策を万全にしたうえで、行うことができました。秋葉会長の挨拶、渡邊先生より母校の近況報告と百周年記念行事の報告と記念式典の様子を紹介いただきました新しく51年卒の星野洋一さんが首都圏副会長に、53年卒の星野陽一さんが幹事に選出されました。

熊倉由美さん(昭和55年卒)のジャズタイムなど盛会のうちに終了しました。来年度はより普段の形で実施できるものと考えておりますのでお近くにお住いの同窓生の皆様にはぜひご参加をお願いいたします。



関西新潟明訓会

令和4年 懇親パーティー

関西新潟明訓会懇親パーティーはコロナ禍により2年間開催を断念しておりましたが、令和4年11月26日(土)に会場のホテルグランヴィア大阪、出席者の皆様の感染対策を十分に行い三年振りの開催となりました。同窓会本部からは大倉副会長、首都圏新潟明訓会からは古金副会長が出席。

新潟明訓高校からは渡邊淳一先生が出席され総勢20名での開催となりました。

本間会長の開会のご挨拶、来賓の祝辞、渡邊先生からは母校の近況報告をいただき、首都圏の古金副会長の乾杯で懇親会はスタートしました。今年のアトラクションは学校創立100周年事業および記念式典のDVD放映、恒例となった新潟県産品のビンゴゲームが行われました。三年振りの再会や久々の再開にグラスを交わし、近況等を語り合い、あつという間の2時間半は校歌斉唱で閉会となり、二次会へと場所を移し更に懇親を深めました。

学校のご厚意により、卒業時に関西新潟明訓会の紹介文を配布していただき、関西圏に進学される卒業生に連絡先の登録をお願いしてまいりましたが、お陰様で今回も新卒生の



橋本敦さんが初参加していただきました。有難う御座いました。

令和5年懇親パーティーにつきましては詳細が決まり次第、ホームページに掲載致します。関西圏にお住いの同窓生(学生)の皆様、是非一度、関西新潟明訓会にご参加下さい。お待ちしております。

連絡先・(事務局) 阿部邦義
090-5902-2993

新潟明訓高等学校 創立100周年記念事業

新潟明訓高等学校は大正10年9月、向学の念に燃えた勤労青年が集まり、自らの手で開設した全国でも稀な学校であります。開校以来、同窓会、保護者及び教職員が堅く手を結び、「好学・自治・質実・協力・奉仕」の校訓のもと、輝かしい伝統を築きあげてまいりました。これまでに、約3万余名に及ぶ卒業生を送り出し、多数の有為な人材が世界を舞台に活躍しております。現在、中学校・高等学校合わせて35学級1,500

余名の生徒を擁する学校となり、学習活動とともに部活動においても素晴らしい成果をあげるなど文武両道の学校として、県内はもとより全国に知られているところであります。

このように歴史ある本校も、令和3年に創立100周年を迎えました。この記念すべき年を迎え、本校100年の歩みの中で培われてきた好学・自治の校風を誇りに、さらに未来に向かって躍進することを目指し、同窓会、保護者会、学校が一体となって、創立100周年記念事業実

行委員会を組織し、左記の記念事業を行うこととなり、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、いくつかの事業は延期、中止となったものもございましたが、昨年11月をもってすべてを無事実施できました。

○創立100周年記念事業

- 1 教育環境整備
明訓の歴史資料の展示及び収蔵、放課後・休日などにおける生徒の学習スペース、同窓会活動拠点などの機能を有する「新潟明訓百周年記念会館」の建設記念式典・記念祝賀会、記念講演会
- 3 創立100周年記念史の発行
- 4 明訓高校同窓会名簿発刊
- 1 教育環境整備 (新潟明訓百周年記念会館)
令和3年10月「新潟明訓百周年記念会館」が竣工しました。
一階は生徒の学習室と会議室が兼

ねられています。生徒は放課後、休日など熱心に勉強する姿が見受けられています。
二階は明訓高校の百年を紐解く歴史資料が展示されています。また本校の卒業生である新井満氏が寄贈された美術品も数多く展示されています。これらは明訓生の心と生活を豊かにするものとなります。



1階 学習室



2階 ギャラリー



2階 展示室



2階 展示室 (新井満コレクション)



記念式典

2 記念式典・祝賀会・記念講演会
 新型コロナウイルス感染拡大により、令和3年の開催は次の年に延期となりました。
 令和4年10月22日(土)に制限を付け、記念式典・記念講演会は朱鷺メッセ コンベンションセンターを会場に来賓の方々の参列を賜り、全校生徒、保護者会、同窓会員を含め2,000人の規模で盛大に開催されました。放送部制作の百周年記念動画の放映や吹奏楽部の祝典演奏もあり、学校全体で盛り上がりを感じられる式典となりました。



記念講演会 藤沢周先生

放送部制作の
 「新潟明訓百年史」動画
 学校HP or 下記から



記念講演会は本校卒業生で芥川賞作家の藤沢周先生から「明訓スピリッツ！」と題して明訓生への応援と将来への示唆を感じられる講演で感動するものであります。



百年史

3 創立百周年記念史の発行
 「新潟明訓百周年記念史」は令和3年11月に刊行しました。百年を振り返り、新潟明訓高等学校の深い歴史が考察され、大変充実したものとなりました。また、新潟明訓の源泉で



祝典演奏 (吹奏楽部)

【お詫びと訂正】

明訓同窓会名簿におきまして、

平成7年卒茅野昌文(ちのまさふみ)さんの読み仮名をかやのとしておりました。ここに訂正し、お詫び申し上げます。なお会員名簿のデータベースは訂正しております。

最後に、同窓会の皆様方にはこの記念事業の寄付をお願いいたしました。記念事業の寄付をお願いいたしました。令和3年12月に刊行し、同窓会の方々にご購入していただきました。

最後に、同窓会の皆様方にはこの記念事業の寄付をお願いいたしました。記念事業の実施に使わせていただきました。

これからも同窓会の皆様には新潟明訓高等学校へのご援助ご指導をお願いいたします。

4 新潟明訓同窓会名簿
 百周年を記念して同窓会名簿を改訂いたしました。令和3年12月に刊行し、同窓会の方々にご購入していただきました。

ある「弥彦明訓校」についても深く考察され、明訓の歴史をたどる重要なものとなったと思います。

